



作業開始前に円陣を組む活動隊とカレッジ隊

組織運営

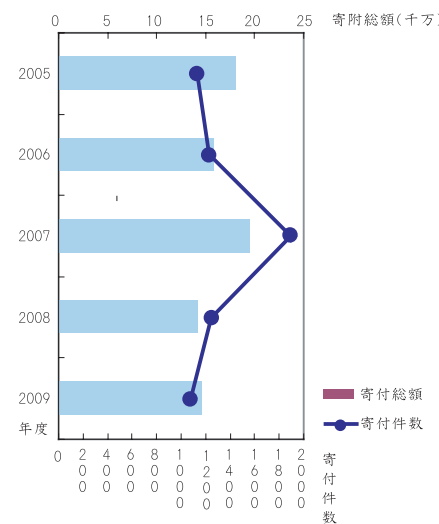
財源確保

(1) 認定NPO法人関連

当会は2004年1月に日本で19番目に認定NPO法人に認定されました。今年度は再認定の年にあたり、申請を行った所、あらためて受理され、2014年末まで資格を継続できることになりました。これは、JHPが多くの皆さまの支援を得るとともに、財務的にも透明性の高い活動を続けてきたことが認められたことと言えます。

今年度は、前年度よりも寄付件数が減少したものの、寄付総額は現状を維持しました。このような中、美術教材支援の呼びかけに応じた寄付件数が増加した点は評価できるものと考えています。継続運営には、広く市民に支えられる会を目指すことが大切です。良い事例を参考に、次年度は、個別事業の支援呼びかけの強化、寄付レポート促進など、ご寄付件数と寄付額の増加に向けて対策を講じていきます。

寄付総額と寄付件数の推移



(2) 支援者情報

「JHP・藤原紀香 カンボジア子ども教育基金」



2004年秋、縁あって個人的にカンボジアを訪れた女優の藤原紀香さんが、決して豊ではないけれど元気に、輝く瞳をもったたくさん子どもたちと触れ合う中で「カンボジアの子どもたちの夢を実現するお手伝いが自分にも何かできないだろうか」といった思いが強くなる中でJHPの活動を知り、一緒にカンボジアの子どもたちのために協力し合う目的のもと、2006年5月、「JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金」を設立。藤原紀香さん自身による写真展「Smile Please!」やホームページを通じた皆様からのご寄付、藤原さんの著書印税寄付などにより、2008年3月、プレイベンスン小学校建設支援、同年夏には同小学校に遊具(ブランコ2基)建設支援を実施しました。

2009年度は「第8回JHPカンボジア絵画展」開催にあたり、新たに『藤原紀香賞』を制定。応募作品多数の小学校部門から1作品の選定と、コメントを寄せていただきました。併せて本絵画展開催にあたり、同基金から他の支援者の皆様と共に美術教育を支援いただきました。

なお学校建設2棟目についても現在協議中であり、2010年度中の建設を目指します。

年度	寄付額(収入)	支援額(支出)	繰越し額
2006年度	1,949,618 円	0 円	1,949,618 円
2007年度	6,175,280 円	6,000,000 円 学校建設	2,124,898 円
2008年度	5,105,079 円	220,000 円 ブランコ 基建設	7,009,977 円
2009年度	1,704,782 円	226,800 円 美術教育支援 「第8回絵画展」 開催支援	8,487,959 円



藤原紀香さん(中央)とメーサン小学校の子ども達

(3) ご寄付サイトの実績

今年度は、当会が参加している4つの寄付サイトを通じて、合計330,999円の寄付を受けました。(前年度実績:247,144円)

(4) 会員の状況

今年度は新規会員数が前年度よりも下回りましたが、継続会員(個人)が33人増えたことにより、会員数を若干数伸ばすことができました。これは、2008年度の反省を活かして、役員や事務局が個別に働きかけを行ったことが成果に現れたものと考えます。今後、会員数を減らさないためには、活動の充実を含めた団体の魅力に磨きをかけ、分かりやすく広報していくことが課題となります。

会員の内訳		人数	前年比増減
継続	特別会員	27 名	- 1 名
	個人会員	939 名	+ 33 名
新規	特別会員	1 名	- 2 名
	個人会員	140 名	- 14 名
合計		1,107 名	+ 16 名

(5) 各種基金活動

今年度は、スマトラ沖、ハイチ、チリで起きた大地震に対して事務局を中心に募金活動を行い、それぞれ当会が関係する他団体に委託することができました。

(6) 各種収集による財源確保

今年度も書き損じ葉書や切手を集める運動を継続した所、58,957円分(累計1,951,227円)の通信費削減につながりました。また、未使用切手は58,179円分(累計359,805円)が集まりました。ありがとうございました。

(7) 各種助成金申請

・年間申請数(8件)
今年度は8件の申請のうち採用3件、不採用3件、結果待ち2件の結果となりました。

名称	対象事業	配分決定額
国際ボランティア貯金	学校建設	152,000.00 円
国際ボランティア貯金	音楽支援	1,605,000 円
連合「愛のカンパ」	CCH運営	2,000,000 円
国際協力 NPO 助成	音楽支援	1,000,000 円
浄土宗共生(ともいき) ・地域文化大賞	国際ボランティア・ カレッジ	500,000 円
合計		20,305,000 円

(8) マイレージ

当会はノースウエスト航空の社会貢献プログラムの寄付先として、長年支援を受けています。2009年10月、同航空はデルタ航空への統合が決まり、「スカイウィッシュプログラム」と名前が変更されましたが、当会は引き続き支援団体に選ばれました。今年度は、マーチングバンドマレーシア世界大会派遣、音楽・美術の専門家派遣、ネパール調査派遣等にマイルを有効活用することができました。

各種会議

(1) 会員総会

2009年5月23日(土)、読売理工医療福祉専門学校502号室にて実施しました。会員総数1,091名、出席者は358名(委任状出席を含む)でした。

(2) 理事会

今年度は8回実施しました。主な重要審議事項は次の通り。
第82回 「マイレージ利用規程の制定」
第83回 「新援助国(ネパール)の調査団派遣」
第86回 「理事、監事の選任」、「代表理事及び副代表理事の互選」、「ローカルスタッフ給与体系の改定」、「諸規定の制定及び一部改定」

3) 運営協議会

理事と事務局の情報共有や運営に関する検討の場として実施しています。今年度は23回実施しました。

(4) 事務局ミーティング

常勤理事、職員、定期ボランティアによる情報共有の場として、毎週金曜日の午前中に実施しました。

(5) マンスリーミーティング

ボランティアによる月例ミーティングを毎月1回(主に第1土曜日)に実施しました。今年度の参加者延べ数は135人でした。ボランティアの自主性を促しながら、ミーティングを更に活発にしていきます。

職員教育

外務省NGO長期スタディ・プログラム

若いエーゲ海とストライキのギリシャへ

2009年10月2日～2010年3月8日まで大平職員をスタディ員として、ギリシャのNGO「Hellenic Anti Poverty Network(HAPN)」へ派遣しました。「ヨーロッパのNGOにおける効果的な市民啓発活動を学ぶ」をテーマに、広報スキルの向上とギリシャの市民啓発活動を目的に研修へ参加しました。

協力団体提携

今年度は9団体に参加及び加入し、活動展開の為の様々な情報を得ることができました。

団体名
JEN
地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)
アフリカへ毛布をおくる運動
NPO事業サポートセンター
国際協力NGOセンター(JANIC)
港区国際交流協会
教育協力NGOネットワーク(JNNE)
北海道NGOネットワーク
カンボジア市民フォーラム



2009年8月に贈呈したワットモンコルカラム小学校(スワイリエン県)の建設費用には、日本の23校の学校からの寄付のほか、書き損じハガキ、未使用切手が役立てられました。